

スプラッシュフェスティバル

8月7日(土) ~ 8月9日(月)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	水鉄砲大会	作戦会議
2日目	野外炊飯、フェス準備	スプラッシュフェスティバル	キャンプファイヤー
3日目	清掃・思い出工作	施設を出発・解散	

一日目: 各集合場所から尼崎へ集まってきました。全体集合では、“ロングアドベンチャー”と合同で行ったため、とても大人数でした。挨拶、グループ分けを行い、早速曽爾高原へ出発しました。バスの車内では、自己紹介をしたり、レクリエーションをしたりと賑やかな声が聞こえてきました。施設に到着する頃には仲が深まっておられる様子でした。前日までの雨天の影響で川遊びは出来ませんでした。二日目に行うスプラッシュフェスティバルの会場で水鉄砲大会を実施しました。「二日目の練習が出来る！」と多くのメンバーがモチベーションを高く持たれていました。各部屋で着替えを済ませたら、いよいよ水鉄砲大会の開幕です。相手グループのポイを狙い撃ち、味方がたくさん生き残れば勝ちです。三つのグループを同時に行いました。待ち時間に作戦を考えたり、準備をしたりとそれぞれのグループで有効に時間を使っていました。作戦もグループ毎に異なり、相手を待ち伏せしたり、散らばって沢山攻撃をしたりと、白熱した水鉄砲大会になり明日の本番が今から楽しみです。水鉄砲大会を終え、部屋に戻り、着替えと入浴準備を済ませました。今日の夕食は食堂でいただきました。夕食とお風呂を済ませたら、夜は明日のチーム分けと作戦会議を行いました。今回のスプラッシュの色は【赤・青・黄・緑】の四色です。色はくじで決定し、男女混合の4チームが結成されました。今日の水鉄砲大会を振り返り、フェスの詳しいルールを皆で確認しました。諸々進めていくにつれ、皆の顔も真剣モードに変わっていきました。

二日目: 朝から大忙しです。スプラッシュ恒例の“朝カレー”を作ります。グループで【ごはん係・かまど係・野菜係】に分かれ、カレー作りを進めていきます。グループで力を合わせてカレーを完成させました。しっかり食べて、力を蓄え、本日の決戦に備えました。食べ終わったら、器材の片付けも行います。この後の活動が盛沢山なので、手早く進めていきます。昼食までの時間を使い、チームのユニフォームを作成しました。チームごとに色を分け、グループで統一したオリジナルのユニフォームの完成させました。食堂で昼食を済ませたら、作ったユニフォームに着替えて、決戦会場に移動しました。決戦会場に着いたら、チームごとに準備を進めます。チームの旗を作成したり、陣地の確保をしたり、色水を作ったりと決戦に向けて着々と準備が進むにつれて、ワクワクが止まらない様子が見られました。全チームの準備が整い、いよいよスプラッシュフェスティバルの開幕です。スタートの合図と共に、色水の打ち合いが始まりました。スタートと同時に駆け出すチームや、固まって木影から狙うチーム等、昨日の作戦会議が活かされていました。二回戦目行う前に休憩を挟みました。休憩中は、一回戦目を参考に更に作戦



を練ったり、色水の補充・準備をします。二回戦目は、慣れてきたのか一回戦目よりも白熱した打ち合いが繰り広げられていました。時間ギリギリまで大盛り上がりでした。結果は、翌日発表です。決戦の後は皆で片付けをしました。片付け後は、部屋に戻り、着替えを行いました。夕食を食堂で済ませ、入浴後は、皆がお待ちかねのキャンプファイヤーを楽しみました。リーダーが用意したレクリエーションで就寝時間ギリギリまで盛り上がり、二日目を終えました。フェスの結果が気になり、眠れないという声も聞こえてきましたが、布団に入るとすぐに寝息が聞こえてきました。



三日目： 最終日の朝は部屋の清掃から始まりました。三日間お世話になった部屋を皆で協力して、【来た時よりも美しく】を目指し、綺麗にしました。清掃後は朝食作りに向かいました。三日目の朝食は、キャンプの定番の“パックドック”を一人ずつ作り、いただきました。朝食後は、思い出工作を行いました。今回の思い出工作は、“キーホルダー”です。丸太をやすりで削り、オリジナルのキーホルダーを作りました。丸太には、このキャンプでの思い出の絵を描き、金具を付けたら完成です。それぞれの個性豊かなキーホルダーが完成しました。皆が完成すると、いよいよ結果発表の時間です。第二回スプラッシュフェスティバル優勝は、『赤チーム』でした。優勝チームには、賞品としてスプラトゥーンのハンカチを贈呈されました。食堂で昼食を済ませ、施設の出発の時間です。バスで尼崎へ向かいます。尼崎で皆と最後のお別れをし、それぞれの解散場所へ出発しました。また、皆と第三回スプラッシュフェスティバルで会えることを約束して…。



<キャンプ総括>

この度は、“スプラッシュフェスティバル”にご参加いただき誠にありがとうございました。昨年よりも多くの方々にご参加していただき、大いに盛り上がったキャンプとなりました。今年は場所を変えて、ルールや装備について、より付け加え、パワーアップして行いましたが、実際に行ってみると十分に改善の余地があると感じました。このキャンプは、【スプラトゥーン】というゲームを模して行っております。少しずつですがゲームに近づいているとの実感はあります。今年の実感を活かし、更に皆様に満足していただけるものをお届け出来るようにしていきます。そのように思う理由として、今回ご参加いただいた皆様から「また来年も行きたい!」と多くの声が上がったからです。この“スプラッシュフェスティバル”をより進化をさせ、毎年ご参加頂く度に皆様に満足していただけるキャンプへ成長させていきます。ぜひ、来年もスプラッシュフェスティバルへの挑戦をお待ちしております。

追伸

来年に【スプラトゥーン3】が発売されるらしいので、そこからも大いにヒントを得て、より素敵なキャンプを実施致します。

(橋本 里佳)